

社団法人 シャンティ国際ボランティア会 (SVA)

- ニュース リリース -

ミャンマー(ビルマ)・サイクロン被害 緊急救援 Vol.10
日本の桃太郎が、子どもたちのもとに届きました!!

(社)シャンティ国際ボランティア会(SVA)では、サイクロンで壊された村の保育施設 34 棟を再建しています。先月からは復興支援事業として、この施設を利用している3歳から5歳、約1,100人の子どもたちのために「絵本を届ける運動」注釈の活動を行っています。日本の多くの方々のご協力により完成した絵本は、少しずつ子どもたちの手に届き始めています。巨大サイクロンを経験して傷ついた子どもたちが「絵本のチカラ」で癒されることを願いながら活動を続けています。



「読み聞かせ」を始めるとワイワイと子どもたちが集まってくる。



訳語シールを貼って被災地の子どもたちへ届けた絵本。日本でも人気の「きんぎょがにげた」「ぐりとぐらとすみれちゃん」「どうすればいいのかな?」「ももたろう」(福音館書店)等。

小さな
絵本の
大きな
チカラ!



保育所の先生からひとこと



ゼイ・ゼイさん(ヘアジロ村)
「日本から来た絵本は、とても絵がきれいで、子どもたちは大喜びです。ぜひ、これからもいろいろな絵本を届けてください!!」

ミャンマー(ビルマ)・サイクロン 復興支援
~ 「絵本を届ける運動」 ~

34棟の保育施設はもうすぐ完成です。しかし、ミャンマー南部の沿岸地域の農村は以前から貧しく、保育所の教材は不足しています。そこでSVAは被災地へ絵本を届ける活動を始めました。絵本にはカレン語訳のシールが貼られています。絵本が繰り広げる物語の世界は、子どもたちの「心の窓」を大きく開いて、想像力や豊かな感性を育みます。今後もみなさまのあたたかい手で出来上がる絵本を、ひとりでも多くの子どものもとへ届けたいと計画しています。

注釈「絵本を届ける運動」とは・・・

日本で出版されている絵本に現地語の翻訳シールを貼って届ける、SVAが1999年から始めた運動。昨年はカンボジア・ラオス・ミャンマー(ビルマ)難民キャンプ・アフガニスタンの子どもたちの元へ2万冊以上の絵本を届けました。

お問い合わせ (社)シャンティ国際ボランティア会(SVA) 東京事務所 緊急救援担当: 白鳥 薄木
〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館3階 TEL:03-5360-1233 / FAX:03-5360-1220

URL: <http://www.sva.or.jp/> E-mail: eru@sva.or.jp

